



さいじょう

文芸広場

俳句

玉井北男 選

秋晴や介護日誌を読み返す
山茶花の白ばかりなる静けさよ
さよならの短き握手つめたくて
山幾重深き眠りの色となる
風呂吹を自画自賛する夕餉かな
土産屋の人の列なす秋時雨
音もなく柿の葉落ちて陽の沈む
柿暖簾潜りて届く宅配便

三谷福美
三好清信
菅 正子
大森妙子
越智幸子
森本郁子
青野義明
高橋 和
三好清信
尾崎康博
中路清子
近藤忠夫
越智幸子
木原恵美子
越智富美子
藤原 博

川柳

平尾忠文 選

七五三子よりも母の髪飾り
老いの道せめてこれから撓やかに
何事もランクをさげて生き上手
脳の螺何度もしめて八十坂
まだ迷い残る余生の句読点
秋夜長本を枕に夢うつつ
孫四人成就指して初登山
子と同じ手間かけるほど育つ苗

三好清信
尾崎康博
中路清子
近藤忠夫
越智幸子
木原恵美子
越智富美子
藤原 博

短歌

藤田虎雄 選

小春日の日向ぼこする我が視野をひらひら紋
白蝶が横切る
塩見田鶴子
ひそやかに古木 白山茶花の咲き満ちて ひ
ひとり居にこおろぎ鳴きやむ秋風の寒く吹く夜
に月の影見る 佐々木ツタ子
常夜燈ほのかに明かる参道に入港の汽笛はる
かに聞こゆ 青木タクコ
老いの日の残り少なき人生の風邪に臥したる
三日惜しかり 伊東まゆみ
あれをした い これもしたいと思いつつ殆ど
叶わず年を重ねる 豊島ミチ子
球根を植えつつ思ふ一年の時の早さに思ひ至
りて 吉田喜代子
数え見てスマホ操る人多し市内に向かう電車
の中は 伊賀和子

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体（楷書等）で作成し、
俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりが
なを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎
月1日までに担当課へ郵送・持参してください。
応募先

〒793-8601 明屋敷164
西条市役所 広報広聴課 広報係
TEL 0897-52-1204 (直通)

「障害者週間」記念標語優秀作品発表

障害者週間（12月3日～9日）にちなみ、障害者福祉やボランティア活動をテーマにした標語を市内の小学5・6年生から募集したところ、1,939点の応募があり、審査の結果、次の方々が受賞されました。（敬称略）

- 最優秀賞 佐伯優輔（石根小5年） 考えず さし出すその手が 思いやり
- 優秀賞
 - 中野胡春（玉津小5年） 大事な「目」 みる「目」気付く「目」 伝える「目」
 - 鈴鹿琢朗（周布小6年） あたりまえ まちがっていない？ あなたの基準
 - 十亀友太（徳田小6年） 思いやり 態度で見せよう 自分から
- 入選
 - 日野聖里菜（神拝小5年）
 - 笠崎琢心（神拝小6年）
 - 藤田梨央（西条小5年）
 - 越智 匠（国安小6年）
- 特別賞
 - 越智萌々香（橘小6年）
 - 塩田真幸（氷見小5年）
 - 藤原帆花（大町小5年）
 - ウェストロップはんな（禎瑞小5年）
 - 福田萌々（壬生川小5年）
 - 松木 唯（吉井小6年）
 - 渡邊雅子（田滝小6年）
 - 高橋綱将（小松小5年）

